

平成 30 年度 特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」関連催事

特別講座 「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」実施要項

1.目的

沖縄県平和祈念資料館では、過去の歴史的教訓を次代に継承し、平和を希求する「沖縄のこころ」を広く発信するために、様々な視点で平和を考える機会として特別講座を開催します。

2.内容

戦後 73 年が経ち、戦争体験者が減少するとともに、県民の 9 割近くが戦後生まれとなっています。戦争体験者の高齢化も進む中、そう遠くない時期に、私達が暮らすこの沖縄から、戦争体験者がいなくなることが予見される状況です。加えて、戦後のめざましい発展により開発が進み、戦地跡もなくなりつつあります。しかし、戦後 73 年経った現在も、生き残った人々の生活に沖縄戦の影響が未だ見受けられる状況です。こうした中、沖縄戦の体験をどう継承していくかが問われている。多くの住民を巻き込んだ凄惨な地上戦である沖縄戦を学び、その教訓を後世に伝えていくことは、平和な社会を築いていくうえで欠かせないことであることはいまでもありません。

今回の特別講座では、戦後の沖縄の教育の研究や平和教育に携わるとともに、沖縄戦の継承に取り組んでいる方々をお招きし、いずれ訪れるであろう“戦争体験者のいない社会”の到来を踏まえ、沖縄戦の実相や体験者の思いを語り継いでいくための取り組みを紹介していただくとともに、シンポジウム形式で、今後の社会の変容を踏まえた平和教育の在り方等について考えていきます。

3. 講師及びパネリスト

- ①名桜大学教授 嘉納 英明（特別講座講師、パネリスト）
- ②南風原文化センター（南風原町教育委員会生涯学習文化課）
学芸班長 平良 次子（パネリスト）
- ③沖縄県平和祈念資料館友の会 会長 安田 國重（パネリスト）
- ④ひめゆり平和祈念資料館学芸課長 古賀 徳子（パネリスト）
- ⑤沖縄県立読谷高等学校 教諭 松田 江利奈（パネリスト）

4.日時：平成 30 年 10 月 21 日（日） 受付 12:40～ 開会 13:10 閉会 16:30

5.場所：沖縄県平和祈念資料館 2 階 大会議室（糸満市摩文仁 614-1） 入場無料

6.プログラム

時間配分	プログラム内容	担 当
13:10～13:15 (05分)	開会挨拶	館長
13:15～13:20 (05分)	趣旨説明	金城 (沖縄県平和祈念資料館)
第1部 講話		
13:20～14:10 (50分)	講 話 演題「沖縄の子どもの戦後生活史」 講師：嘉納 英明 名桜大学教授	
14:10～14:20 (10分)	休 憩	
第2部シンポジウム		
14:20～15:20 (60分)	平和教育事例紹介 (パネリスト計4名 ※1人15分程度)	
15:20～16:10 (50分)	パネルディスカッション	
16:10～16:25 (15分)	質疑応答	
16:25～16:30 (05分)	閉会挨拶	館長